

2019 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

公益財団法人 橋本財団
理事長 橋本 俊明 様

2020 年 5 月 31 日

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんあかね			
団体名	特定非営利活動法人あかね			
代表者名	役職名	代表理事	氏名	中山 遼
連絡先	住所	岡山県岡山市北区関西町 3 番 11 号		
	TEL	086-256-7122		
	E-mail	Fs-akane@po1.oninet.ne.jp		
	URL	https://akane.okayama.co		
設立年 (西暦)	2001 年(法人化は 2016 年)			
主な活動	不登校・ひきこもりの子ども・若者およびその家族に向けた、居場所事業、学習支援、訪問支援			
活動の対象者	不登校・ひきこもりの子ども・若者およびその家族			
助成活動名	ICT 等を使った学習マイノリティへの学習サポート事業			
助成額	800,000 円			
実施内容	目的	不登校をしている子どもの中には、発達障害や、発達障害の特性があっても診断基準に満たないグレーゾーンの子が多くいる。彼らの中には学びたいという意欲があるにも関わらず、特性とあった学習方法がわからずそのまま学習ができていないという課題がある。彼らに対して個別のアセスメントを行い、その子の特性にあった教材の提供とサポートを行うことによって彼らの学習を保証すること。		
	内容	不登校や発達障害を持つ小中学生に対して、当団体施設(遠隔の場合は自宅)にて、週に一回タブレットを活用して学習支援を行う。学習の方法や内容は各個人の支援計画に沿って、教材や学習方法を合わせて学習支援を行う。		
	成果	26 名と当初の予定より数多くの方に利用していただくことができた。多くは現在も継続して学習支援を行っているが、その内 2 名が完全学校復帰、2 名が高校進学を果たすことができた。 また、本事業に関して岡山市のこども福祉課および生活保護・自立支援課が関心を持ってくださり、モデル事業として生活困窮世帯の小中学生に対する学習支援事業を開始することができ、昨年度に引き続き今年度もモデル事業を継続することができている。		
今後の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> 現在の様々な子達の学習の形に合わせて学習スタイルを合わせて行ってはいるが、事業途中で継続が困難になったケースも少なからず見受けられたため、そのようなケースに学び、より子どもたちの現状や学び方に合わせた学習を行い中断率を下げる取り組みを行いたいと考えている。 岡山市とのモデル事業で成果をあげ、生活困窮世帯向けの学習支援で成果をあげ、本事業化する。 			
参加者・利用者の感想など	<p>【高校進学を果たしたまなびたの生徒の保護者から頂いた御礼のお手紙の一文を引用】 (前略)本人は外出して、目的なしでいることに納得できず困っていたら、タブレット学習開始という好機に恵まれました。中三のなり、勉強は好きではないけど、したくないわけでもない、高校には行きたいという思いも生まれていたようでした。まなびたの先生は、本人を理解して、不躰な態度も暖かく見守って丁寧に支援して下さいました。ありのままの自分を出して安心な相手、信頼できる人に出会えたことに感謝です。子どもの不登校を通して、当たり前や普通ではなく、子どもの特製を捉え、子どもを信じて見守り待つことの大切さを学んだ気がします(後略)</p>			

写真の提出

